

所属	経営学研究科 経営学専攻	課程	修了年度	2023 年度
氏名	呼斯楽(クスレ)	指導教員 (主査)	吉原敬典	

論文題目	中国内モンゴル自治区における観光牧場設立の成功要因に関する一考察 ～サービスマネジメント理論の視点から～
------	---

本文概要

本研究論文の目的は、消費者ニーズから内モンゴルにおける観光牧場設立のための成功要因は何か、という問いを出し考察して、一つの解を導き出すことである。この目的に整合する結論を得るための研究方法は次の3つの方法である。文献調査、インタビュー調査、アンケート調査の3つである。

文献調査については、サービスマネジメント理論に依拠して先行研究を行なった。その上で、10名に対してインタビュー調査を行ない、以下の仮説を発見した。

第1仮説：観光牧場において観光者に内モンゴルの伝統文化の内容を明確に伝える方が、観光者の集客にプラスの影響力を及ぼす。

第2仮説：日本の観光牧場が行なっている経営方式について明らかにし学ぶ方が、内モンゴルでの観光牧場の経営の安定化と健全化に有効に作用する。

なお、インタビュー調査対象者は、テレビドラマノプロデューサー1名、民間企業経営者1名、公務員1名、新聞記者1名、大学生2名、内モンゴル牧場経営者4名の計10名である。

上記仮説を検証するために、アンケート調査を実施した。配布した調査票数は224調査票である。回収された122調査票の中で有効回答が得られた116調査票を用いて分析した。有効回答率は54.0%である。単純集計分析とクロス集計分析それぞれの結果を考察し、またインタビュー調査結果を総合的に考察した結果、上記した仮説は検証された。また同時に、内モンゴル自治区の地域商品やモンゴル族の伝統文化には高い関心が寄せられている反面、インフラや安全面への満足度が低く課題であることが明らかになったところである。

まとめとしては、成功要因は以下の3つであることが明らかになった。第一は牧場の衛生環境を整備するなどインフラを強化する。第二はモンゴル族の伝統文化と地域商品を結びつけることで内モンゴルの観光牧場をアナウンスし、内モンゴル以外の消費者に訴求する。第三には、日本の観光牧場経営の成功要因に学び、牧場収入を増やす。今後の課題は、アンケート調査において対象者を母集団にするには限定的に取り上げられていることが考えられることである。したがって、世界のどこをターゲット化するのかについて検討し、広くアンケート調査を実施することである。

以上